

みなまた 市議会だより

第57号

平成25年 4月15日
編集 みなまた市議会
だより編集委員会
発行 水俣市議会
電話61-1661
<http://www.city.minamata.lg.jp>
E-mail:gikai@city.
minamata.lg.jp



- 平成25年度一般会計予算可決 総額138億8,908万円
- 水俣市空き家等の適正管理に関する条例可決
- 水俣市長の給与の減額に関する条例可決
- 議長不信任決議案を否決



3月定例会の報告



平成25年第1回3月定例会市議会が2月25日(月)から3月19日(水)までの23日間で開かれました。

市長から条例改正や平成25年度予算などの議案が提出され、議案の審議や市政に対する一般質問等を行いました。

条 例

条例の制定9件を可決

- 水俣市新型インフルエンザ等対策本部条例
新型インフルエンザが発生した場合に、市が対策本部を設置するため、制定するものです。
- 水俣市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例
一般廃棄物処理施設の維持管理に関する技術上の業務を担当する者の資格を定めるため、制定するものです。
- 水俣市空き家等の適正管理に関する条例
本市の区域内に所在する空き家等の管理の適正化を図るため、制定するものです。
- 湯の児観光浮き橋の設置及び管理に関する条例
湯の児海上に浮き橋を設置・管理するため、制定するものです。
- 水俣市市道の構造の技術的基準等に関する条例
市道の構造の技術的基準を定めるため、制定するものです。
- 水俣市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な

市道の構造の基準に関する条例
高齢者、障害者等の移動の円滑化のために必要な市道の構造の基準を定めるため、制定するものです。

●水俣市地域経済活性化・雇用創出基金条例
国の交付金を受け入れるため基金を設けるもので、地方単独事業の財源として活用するものです。

●水俣市長の給与の減額に関する条例
古紙類リサイクル事業、バイオマス発電計画に関し、混乱を招いたことから、市長の4月分給与を10分の1減額するものです。

●地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律・政令の整備に関する法律・政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
法律・政令の改正に伴い、関係条例を整理するため、制定するものです。

条例の改正11件を可決

●水俣市議会の政務調査費の交付に関する条例の改正
法律の改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改めるため、改正するものです。

●水俣市議会等に出頭した選挙人等に対する実費弁償条例の改正
法律の改正に伴い、引用条文を整理するため、改正するものです。

●水俣市特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償条例の改正
水俣病救済相談窓口の廃止、換地委員の報酬額見直し及び鳥獣被害対策実施隊の設置に伴い報酬額を整理するため、改正するものです。

●水俣市下水道条例の改正
法律の改正に伴い、公共下水道の構造の技術上の基準及び終末処分場の維持管理に関する基準を定める等のため、改正するものです。

●水俣市公共下水道区域外流入分担金の徴収に関する条例の改正
法律の改正に伴い、事業計画に係る認可が協議又は届出となったため、改正するものです。

●水俣市体育施設条例の改正
旧水俣第三中学校の体育館及び運動場を社会体育施設として転用する等のため、改正するものです。

●水俣市病院事業の設置等に関する条例の改正
耐震不足である西館建てかえに県



補助金の交付を受けるにあたり、病床数を削減する必要があるため、改正するものです。

●水俣市議会委員会条例の改正
法律の改正に伴い、法律で定めていた事項を条例で定めるため、改正するものです。(議員提案)

●水俣市議会基本条例の改正
法律の改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改めるため、改正するものです。(議員提案)

●水俣市一般職の職員の給与に関する条例等の改正
国や県の制度に準じて、持ち家に係る住居手当を段階的に廃止するため、改正するものです。

●水俣市職員退職手当支給条例等の改正
国の退職手当給付水準の見直しに準じて、退職手当を引き下げられるため、改正するものです。

予 算

平成25年度当初予算を可決

一般会計総額

138億8,908万9千円

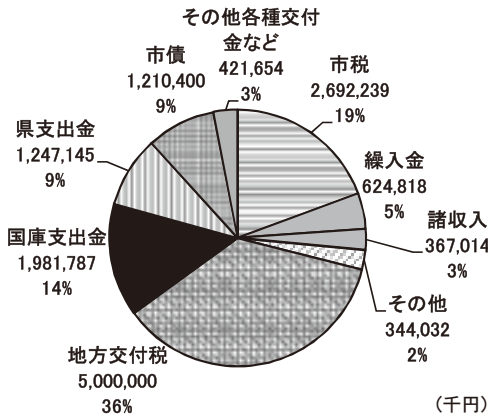
(前年比△1.58%)

歳出に計上された主なものは、次

のとおりです。

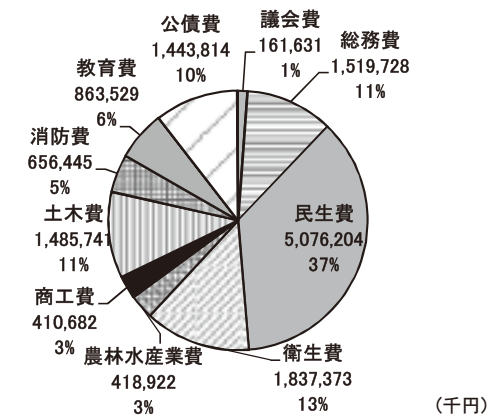
- 水俣芦北広域行政事務組合負担金(消防費) 5億4,953万円
- 肥薩おれんじ鉄道水俣駅整備 4,400万円
- 高等教育機関誘致検討 2,000万円
- 水銀条約外交会議 683万円
- 太陽エネルギー利用システム導入補助 2,855万円
- エコ住宅建築促進 2,600万円
- 認知症施策総合推進事業 4,244万円
- 市民後見推進事業 5,500万円
- 予防接種 7,174万円
- 子ども医療費助成 7,734万円
- 自立支援給付(障がい者へのサービス給付) 8億3,681万円
- 明水園施設整備 8,158万円
- 次世代育成支援施設整備(保育所整備補助金) 9,429万円
- 水俣観光PR 1,100万円
- 湯の鶴温泉センター周辺整備 1,300万円
- 新規就農支援 2,075万円
- 地域特産物産地づくり 6,933万円
- 有害鳥獣駆除 3,322万円
- 全国豊かな海づくり大会 5,693万円
- 橋りよう長寿延命化 1,010万円
- 花のまちづくり 2,437万円
- 市営住宅整備(牧ノ内団地建てかえ他) 2億3,589万円

○平成25年度一般会計予算 歳入



- 商工業資金貸付・出資 1億684万円
- ゼロカーボン産業団地の創造 2,783万円
- スマートコミュニティの構築 1,750万円
- 環境金融商品開発等 2,500万円
- 学校への太陽光発電設置(水東小・葛渡小) 4,543万円
- 小中学校の読書活動推進 458万円
- 蘇峰生誕150年記念 251万円

○平成25年度一般会計予算 歳出



【平成25年度会計別当初予算】

会計名	区分	平成25年度	平成24年度	前年度比
一般会計		13,889,089	14,112,358	△1.6%
国民健康保険		4,479,741	4,567,575	△1.9%
後期高齢者医療		394,928	393,368	0.4%
介護保険		3,369,148	3,166,742	6.4%
公共下水道		1,368,712	1,364,037	0.3%
水道事業		342,087	346,248	△1.2%
病院事業		6,906,522	6,452,336	7.0%
合計		30,750,227	30,402,664	1.1%

・企業会計の数値は収益的支出の額。

平成24年度補正予算を可決

各会計に追加計上された主なものは、次のとおりです。

- 一般会計
- 電算システム管理運用経費 236万円

(本庁・もやい館緊急時補助回線構築業務委託料)

- 法人立保育所運営費 2, 337万円
- 県営農免農道整備事業負担金 435万円
- 産業技術開発基金積立金 300万円
- 読書のまちづくり基金積立金 108万円

☆そのほか、25年度予算に計上された事業のうち、24年度に前倒して予算を計上した方が財源の面等で有利になる事業が計上されました。

- 国民健康保険事業特別会計
 - 療養給付費等交付金 9, 329万円
- 後期高齢者医療特別会計
 - 広域連合納付金 328万円
- 介護保険特別会計
 - 保険給付費 △653万円
- 公共下水道事業特別会計
 - 浄化センター改築更新工事委託料 他 △5, 410万円
- 古城地区雨水幹線工事 他 3, 520万円

【平成24年度会計別補正予算】

(千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	257,386	15,118,038
国民健康保険	86,911	4,683,791
後期高齢者医療	679	393,896
介護保険	△10,844	3,171,572
公共下水道	△21,711	1,333,338
水道事業(収益的支出)	8,462	380,374
水道事業(資本的収入)	11,866	34,697
水道事業(資本的支出)	49,236	339,104

平成25年度補正予算を可決

各会計に計上された主なものは、次のとおりです。

- 一般会計
 - 24年度に前倒して予算を計上した事業を減額するものです。
- 病院事業会計
 - 看護学生奨学金貸付金 800万円

(補正後の総額 1, 600万円)

陳情

陳情3件を不採択

次の3件を賛成少数で不採択としました。(⑤ページ参照)

- 改正介護保険制度の充実を求める意見書提出に関する陳情について
- 国民健康保険財政への国庫負担割合をふやすことを求める意見書提出に関する陳情について
- 最低保障年金制度の創設を求める意見書提出に関する陳情について

陳情2件を継続審査

次の陳情2件は、慎重審査を要するため、継続審査としました。

- 防災対策など住民の安心・安全を支える行政サービスの体制・機能の充実を求める意見書提出に関する陳情について
- 久木野地区における入居施設整備に関する陳情について

その他

指定管理者の指定8件を可決

各施設の指定管理者を次のとおり決定しました。

- 水俣市ワークプラザ (社)水俣市シルバー人材センター
- 水俣市立明水園 (福)水俣市社会福祉事業団
- みなまた環境テクノセンター (株)みなまた環境テクノセンター
- 湯の鶴温泉保健センター 15区自治会
- みなまた観光物産館まつぼっくり (株)みなまた
- 湯の児フィッシングパーク 水俣市漁業協同組合
- 水俣市立総合体育館南館 サンビレッジみなまたスポーツクラブ
- グリーンスポーツみなまた 水俣自然学校

水俣市過疎地域自立促進計画の変更を可決

(変更の内容)
過疎対策事業として「保育料軽減事業」「子ども医療費助成事業」を追加



▼賛否が分かれた議案▼

議案名	会派・議員名	創水会						未 来 みなまた		新政同友 クラブ		無限21		日 本 共産党		公明党	結 果
		真野 頼隆	大川 末長	谷口 明弘	江口 隆一	田口 憲雄	高岡 利治	洲上 道昭	中村 幸治	西田 弘志	福田 齊	塩崎 信介	谷口 眞次	緒方 誠也	野中 重男	川上 紗智子	
平成25年度水俣市一般会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
水俣市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可 決
水俣市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の制定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	可 決
議長不信任決議案	—	無記名投票により採決（賛成6・反対9）														否 決	
改正介護保険制度の充実を求める意見書提出に関する陳情について	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択
国民健康保険財政への国庫負担割合をふやすことを求める意見書提出に関する陳情について	議長	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	不採択
最低保障年金制度の創設を求める意見書提出に関する陳情について	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択

* 上記の議案以外は全員賛成

平成25年 第1回 定例市議会

一般質問

— 質問と答弁を抜粋して掲載してあります —

一般質問の様子は
録画中継で
ご覧になれます！

アドレス <http://www.city.minamata.lg.jp/>

高岡 利治 議員

地域経済の元気づくりについて

◎ 企業支援センターの現状と効果はいかがか

◎ 本年2月末時点において、市内企業175社を訪問しており、市内外の企業との連携の可能性を探るなど、情報収集やネットワークの構築を進めている。株環境テクノセンターや熊大とも連携し、企業の個別相談に応じるなど、職場企業の支援に努めている。

◎ 医療・福祉の充実について

◎ 看護学生に対する奨学金制度の状況はどうなっているか

◎ 看護師の安定的確保を目的として看護学生奨学金制度を創設し、20名の応募があった。この制度は来年度以降も引き続き実施していき、医療センターの看護体制の充実と勤務環境の改善につなげていきたい。

◎ 暮らしやすい生活づくりに
ついて

◎ いじめアンケートの結果

をどのように受け止めるか

◎ 平成24年度のいじめ発生状況について「心のアンケート」の結果、今年度のいじめ発生件数は、小学校298件、中学校51件である。今後、

いじめの未然防止の取組に加え、早期発見・早期解決に力を注ぐよう、市としては教育委員会からも指導してもらいたいと考えている。

◎ 水銀条約について

◎ 12月議会で条約名に水俣の名前をつけることに反対の意見書を可決したが、市長はどう思うか

◎ 市議会での意見書の可決については、重く受け止めている。しかし、私としては、条約名に水俣の名前がつくことは、水俣市・市民にとつても有意義なことと捉えている。

◎ 水俣の名前を条約名につけることの影響をどう考えるか

◎ 世界に水俣が発信され、水俣病の悲劇、水俣病を教訓とした市の取り組みをこれまで以上に伝えられると考える。

海上自衛隊掃海訓練について

問 今回の訓練で、水俣にどのような影響があったか

答 メリットは市内商店街への経済効果があると思う。水俣港に停泊した船は14隻で、およそ600名の隊員が5日間、艦を降り水俣市内で自由時間を過ごしたと聞いている。商店街の飲食店を中心に、通常の1.5倍ほどの売り上げがあったと聞いている。商店街での売り上げが冷え込むこの時期に、このような機会が得られたことはありがたいことだと考える。

西田 弘志 議員

宮本市長のマニフェストについて

問 二期目最終年度を迎え、マニフェストの達成度はどうか。マニフェストを踏まえ、新年度の新たな施策はどうなっているか

答 マニフェストは市政において最優先事項だと認識し、取り組んできたが、人口減少

と少子高齢化、景気や雇用、水俣病問題など、継続している大きな課題については、個々の具体策の結果を出しながら粘り強く取り組んでいきたい。新年度の主な施策として、

ゼロカーボン産業団地創出事業、公共空間整備事業、低炭素型観光推進事業、おれんじ鉄道水俣駅の改修、商店街の街路灯LED化等である。

水銀国際会議について

問 条約名に対し賛否があるが、市の考えはどうか。水銀国際会議の現在決定している内容は何か。水俣を世界に発信するチャンスだ。環境省に行事を押しつけられるのではなく、市として積極的に提案していくべきと考えるがどうか

答 条約名が「水銀に関する水俣条約」と命名されたことを、大変有意義なことと前向きに捉えている。水俣では初の10月9日に開会セレモニーと現地視察レセプションが行われる予定である。本市の環境への取り組みを世界各国に発信する絶好の機

会だと考えている。水俣の様々な情報発信、市民と会議参加者との交流等、積極的に提案していきたい。

環境首都水俣創造事業について

問 木質系バイオマス発電のメリットは、未利用材を使用した場合、将来的に山の木が無くなる心配はないのか

答 基本的に発電ができれば、安定的に収入が入り、利益が地域に落ちる経済的メリットがある。伐採量からしても問題は無い。

環境大学構想について

問 県立大などと話し合いは進んでいるのか、また共同大学院構想に向け、新年度行う事業はなにか

答 継続的に意見交換、カリキュラムの概要や本構想の推進について協議をしている。夏に集中講義を予定し、受け入れ態勢を検証する。

緒方 誠也 議員

市長所信表明について

問 地域経済の元気づくりで

の施策と評価はいかがか

答 総合経済対策課を新設し各種補助制度の充実、企業支援センターの設置で地場企業支援、新規事業展開を応援する環境をつくった。企業の動きの中に手ごたえを感じている。商工観光面では、道の駅バラ園開業で観光客が増えている。「海と夕やけ」「鶴の屋」のオープンで平成24年度は、宿泊数も日帰り客数も増加している。

誘致企業立地補助金制度について

問 今議会に予算計上されなかったのはなぜか

答 残念ながら現時点においては、議員各位のご理解が得られなかった。

問 補助金を交付しないときの影響をどう考えるか

答 交付しない場合の影響は、企業が水俣進出に二の足を踏み、企業誘致活動に影響を及ぼすのではと考える。

木質系バイオマス発電所建設計画について

問 計画に至った経緯と進捗状況はどうなっているのか

答 エネルギーと産業円卓会議の議論の中で、再生可能エネルギーで水俣の電気を100%賄う産業を興す構想が提案され木質バイオマス発電の検討となった。24年度は発電所立

地可能性調査に取り組み、木質燃料の収集、事業の採算性に一定の目途がついた。

問 木質系バイオマス発電の優位性と今後の進め方はいかがか

答 事業の優位性は固定価格買取制度で売電ができ、発電さえすれば安定的に収入が得られること。今後は地域を主体とした、発電事業会社立ち上げに向け検討・調査を行う。バイオマスタウンづくりに

竹バイオエタノールの、





実証実験の結果と企業化については、どうなっているのか

○ 環境省の委託事業で3年間の実証実験の結果、バイオエタノールは、一定の製造技術が確立できた。原料となる竹の確保についても、一定の用途が見ついた。事業化については、採算性の観点からさらなる検討が必要でありまた結論は出ていない。

福田 斉 議員

総合体育館周辺の都市整備について

○ 今後の総合医療センターの工事計画はどうなっているのか

○ 旧西館の解体や渡り廊下の建設に着手し、平成25年度には事業が完成する。

○ 旧三中グラウンドの「市

民運動場化」の検討はされたのか

○ 跡地活用について色々あると思われるが、まだ具体的な検討には至っていない。

おれんじ鉄道沿線の活性化について

○ 新駅計画はその後どうなったのか

○ 南福寺とエコパーク前に当初想定したが、既存の水俣駅の改修を急ぎたい。

○ 集客力のあるエコパーク沿線の関係をどう捉えているか

○ エコパークへの観光客の利便性を向上させるには近くにエコパーク新駅設置が課題となるが、中期的に検討したい。

○ 海上自衛隊や海上保安庁などの定期補給母港として、水俣港に誘致する考えはないか

○ 地域の活性化につながると思われるので、条件や可能性について調査したい。

○ 全国豊かな海づくり大会の取り組みについて

○ 水俣での予定イベントは

どのような計画か

○ 親水護岸での放流行事の他大花火大会や特産品販売夜市開催など多数予定している。

「水俣条約」について

○ 市議会の条約名称反対の意見書に対し市長はどう考えるか

○ 重く受け止めている。風評被害防止も含め、正しい知識を世界中に伝える機会としてたい。

○ 国の水俣病被害対策補助事業についてどう考えるか

○ 今後は補助事業の打ち切りが予想されるが、市の財政も逼迫しており引き続き国の支援が必要である。

野中重男 議員

水俣に関する水俣条約外交会議について

○ 会議で発言できるのか。どういう発言をするのか

○ 発言できる。水俣病の経験と教訓、水俣の今の姿を伝えたい。

○ 差別や偏見を起こさない

ために水俣病の教訓から病氣などが出たら科学的知見を示し予防が大切と発信したいかがか

○ 水俣病のことを正確に伝えたい。

水俣病特措法とチツソ・JNCの地域経済への寄与について

○ 分社化の条件はなにか

○ 特措法での一時金支払いの同意。補償協定の将来にわたる履行、公的支援の借入金返済に支障がないこと。地域での事業継続で地域経済の振興及び雇用の確保に資すること。

○ 県債での貸付金額、返済額、猶予額、残額はいくらか

○ 貸付金額は2,341億円、償還金は296億円、債務免除額は270億円、未償還金は1,775億円である。

○ 5年間の毎年の従業員数と新規地元採用者数は何人か

○ 19年が531人と12人が581人と4人、23年が564人と4人、24年が596人と11人、

4人である。

○ 新規採用や雇用確保の更なる努力を要請したらどうか

○ 地域経済の発展に努力してもらいたい。

2月10日の津波訓練について

○ どんな訓練だったのか

○ 2mの津波が15分後に来ると想定し各機関と連携し実施した。

○ 県発表の地震と津波の死者と被害はどれくらいか

○ 県からはまだ来ていない。

○ 市内の海抜表示を増やしたらどうか

○ 表示の数が少ない。今後検討する。

○ 各家庭に防災個別受信機を配置したらいかがか

○ 1台当たりの金額が高いがデジタル化に合わせて準備を始める。

社会福祉協議会の業務縮小について

○ 縮小の議論の状況はいかがか

○ 利用者への説明と職員の理解を得る努力中と聞く。

田口 憲雄 議員

地域経済の元気づくりにおける地場企業の支援について

問 平成24年に策定した地場企業補助金の支出状況とその成果はどうか

答 問い合わせはない。

問 零細企業の多い水俣市に合った少額の補助金にしてい

くべきではないか

答 地元企業が使いやすいように改善していく。

問 地元の若い経営者とのヒアリングの機会は考えないのか

答 企業支援センターを中心にマッチング等努力している。

問 水俣の総合的なエネルギープランはないのか

答 アクシオンプラン等はあるが、総合的なプランはない。

問 水俣のエネルギー政策を作るべきではないか

答 県の総合プランの進捗状況を見ながら進める。

問 産業支援のなかで、地元企業が熊本市などへ商圏を広げる際の支援を考えないのか

答 既存の補助金制度と性質が違うので、他市を調べて検討したい。

問 農林水産業の振興について

問 水俣市産材の活用と住宅補助の成果はどうか

答 平成24年度、21件。建築総額2億6,000万円と経済活性化に寄与した。

問 木材促進法に基づく宣言はしないのか

答 策定後、公表する。

問 農産物加工場の建設、加工品開発はどうか

答 商工業者と連携し、地域雇用の場になるようにしていく。

問 市原市、守山市などチツソ「縁」の地域に販売ルートを作らないのか

答 関係機関と協議し、販路拡大、加工品開発に取り組む。

問 医療・福祉の充実について

問 看護学生奨学金制度の進捗状況はどうか

答 水俣市他から20名の応募があった。

問 アンチエイジング（老化防止）医療をどう思うか

答 高齢化社会においては、

予防医学が重要である。

問 本市で多い生活習慣病の予防はどうするのか

答 健診を重要視し、生活習慣病の予防に努力する。

問 アンチエイジング医療と温泉の旅行商品は考えないのか

答 旅館組合などの女将会に提案していく。

問 自主財源の確保について

問 市有財産の活用、処分計画、方向性は怎么样了

答 周知を行い売却に努めた

問 財産活用の会議は進めて行かないのか

答 十分検討し全体的な活用を進める。

牧下 恭之 議員

節電対策について

問 温室効果ガス削減取り組み状況と効果は怎么样了

答 公共施設太陽光発電システム導入・住宅用太陽光発電・太陽熱利用システム導入支

援・家庭版ISO普及啓発等により、基準年度から約32%削減している。

問 全公共施設のLED化は進めるのか

答 順次計画的に導入を推進したい。

問 全公共施設のリース方式でのLED化は検討しているか

答 環境モデル都市行動計画の見直しの中で検討したい。

問 自治会防犯灯のLED化への補助拡充は検討しているか

答 現在、3分の2補助で限度額2万円、再度検討する。

問 子育て支援について

問 未就学時の発達障がい児の状況は把握しているか

答 150名把握している。

問 3歳6カ月児健診の効果はどう考えるか

答 保護者・保育園・幼稚園と連携し問診30項目を追加し実施。検診後、経過観察を要する子も増えている。

問 5歳児健診の必要性をどう考えるか

答 早期発見には遅すぎると

問 野焼きで有機物が分解し無機化で窒素やリン酸の塩類

考えている。

投票率向上について

問 投票所入場券裏に期日前宣誓書兼請求書の印刷は実施するか

答 昨年12月の衆議院選挙から、玉名市が県下で初めて通常のハガキに期日前宣誓書兼請求書を印刷して使用している。

問 次の参議院選挙から実施する方向で委員会に提案したい。

無田湿原について

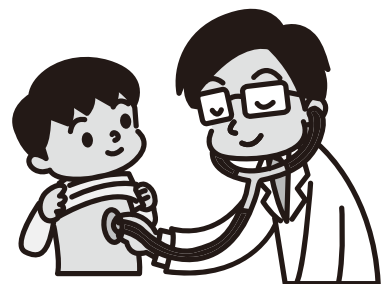
問 保全・再生計画は実施するのか

答 年2回の草刈の保全作業を代替措置として実施。年々進む湿地の乾燥化を懸念している。

問 野焼きで有機物が分解し無機化で窒素やリン酸の塩類

無機化で窒素やリン酸の塩類

無機化で窒素やリン酸の塩類



が植物に吸収され、雑草の防除・害虫・病原微生物も排除できる。また、種子の休眠を打破できる野焼きができないか

野焼きは環境保全に対して効果があると承知している。もう少し研究してみたい。

川上 紗智子 議員

木質系バイオマス発電について

ほかにも様々な再生可能エネルギーの中で、この発電を最優先に取り上げるのはなぜか

市民からの強い要望である雇用創出、経済振興を考えると、太陽光や小水力などと比べて、木質系バイオマスのほうが継続的雇用などを期待できる。

将来的に水俣市のエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを考えた時、発電量が非常に大きいという点、太陽光等と違って天候に左右されない安定した電源が必要という点から、この発電

を戦略的に進めていくべきであらうと考える。

発電規模の大きさ、木材の確保という点で、不安をぬぐいきれない。今後の調査結果次第では、白紙に戻すなどもあるのか

木材の収集に、一定のめどが立った現在の到達点を基に、来年度は発電事業会社の立ち上げが可能か検討していく。当然、発電の事業主体が確立されない場合には、しかるべき判断をしなければならぬと思っている。

九州新幹線の騒音・振動など

の被害について

前の議会で検討したいと答弁のあった市としての調査と「機構」への申し入れの進捗状況はどうなっているか

水俣市陳内地区及び初野地区の調査要望があった6世帯から、本年2月に聞き取り調査等を実施した。その結果については、全線開業した平成23年3月以降に建物の床や壁に新たな亀裂が生じたり、以前からの亀裂がひどくなっ

たのが6世帯全て、振動については気になると答えたのが、5世帯、敷地が地盤沈下したと答えたのが2世帯、以前は畳に布団を敷いて寝ていたが振動が伝わって眠れないのでベッドにしたというのが2世帯、他にも、家全体が揺れる、家が傾いていないか心配である、窓や網戸が揺れる、家建てつけが悪くなった、新水俣駅のアナウンスがうるさい、夜間の駅の照明がまぶしいなどといった回答があった。また、全6世帯から騒音・振動の測定調査を実施してもらいたいとの要望もあった。市としては、今回の調査結果を踏まえ、今月中にJR九州と鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対して騒音等の再測定を実施するよう申し入れを行いたい。

江口 隆一 議員

企業との覚書について

他の誘致企業も同等に扱うのか

反省し不信感をもたれぬ

ようもう覚書は交わさない。

何度までの支援や立地からの年数が限度となるのか

5年以内を限度とするが回数の制限はない。

シンエイカセイ株から以前も水蒸気を引こうとしたのは本当か

平成23年度「低炭素化に向けた事業者連携型モデル事業」で検討をしたが、条件等の理由から実施に至らなかった。

廃油リサイクルの機械の提供の経緯と価格はいかがか

平成18年に環境技術研究開発助成金でBDF製造機械をはじめ総事業費1,450万円のうち850万円を支援している。平成22年からリサイクルされたBDFは振興公社で買い上げている。

法的に問題が無いとは誰が言ったのか

覚書は見せていないが随意契約は有効と舞田弁護士が言われた。

木質系バイオマス発電について

12月議会での答弁について

市道牧ノ内・大迫線について

重く受け止めている。再発防止に努めていく。

全員協議会での予算説明でめどが立ったとの根拠は何か

林地残材が聞き取り調査や、統計資料から十分存在していると確認した。

アメリカのグリーンニューディール政策の失敗はシェールガスによるものと答弁されたが、政策にその影響はあるのか

影響はあるかもしれないが、国産の再生可能エネルギーの普及・振興は必要と考えている。

進捗状況と路線変更の理由について

西回り高速自動車道と一部重複した為、検討、調査が遅れた。現道の拡幅が難しく、急カーブや用地買収費用の軽減などの理由からルート変更をした。

市道牧ノ内・大迫線について

進捗状況と路線変更の理由について

西回り高速自動車道と一部重複した為、検討、調査が遅れた。現道の拡幅が難しく、急カーブや用地買収費用の軽減などの理由からルート変更をした。

市道牧ノ内・大迫線について

大川 末 長 議員

ゼロカーボン産業団地創造
事業について

◎ 燃料木材の賦存量及び必要な量の収集見込みが十分であるとの根拠はどこにあるのか

◎ 林地残材については、県の統計より十分な量が存在することを確認している。また、林業・製材業・素材業など現場で働いている方々からの聞き取り調査で相当量の搬出希望があり、こうしたことから燃料チップの量の確保については一定の見込みがついているとしている。

◎ 発電事業会社の立ち上げはどこが主体となって進めているのか。その構想はどこまで進んでいるのか

◎ 水俣市、JNC、テクノセンターが主体となって進めており、その構想は、これまでは燃料の賦存量、基本的な採算性分析など、実現可能調査を進めてきた。来年度はこの結果を踏まえ、発電所の技術的な優位性、より精緻な採

算性の分析、より確実な燃料収集体制の構築に向けた検討などを重ねつつ、発電事業会社の起ち上げが可能か検討を進めていきたいと考えている。

◎ この事業会社へ水俣市も参入するのか

◎ 例えばフアンドとかに何らかの形で参入出来ないか検討したい。

◎ 雇用が60人発生すると、すでに発表しているが、その根拠はどこにあるのか

◎ 福島県で既に運転している事業所を参考にしたまでであるが本市のこの事業会社に60人の雇用が発生するかは今のところ不確定である。

所信表明について

◎ 25年度の所信表明はあまりにも総花的すぎて、メリハリがないが基本的な施政方針をどう考えているか

◎ 平成25年度はこれまで環境を基軸として進めてきたまちづくりのまとめの年として、また水俣の将来に向けて新たな第一歩を踏み出す年と位置づけて、これまでの取り組みをさらに進めていきたいと

思っている。特に、人口減少が続くなか、雇用の創出のため、地域経済の活性化が最大の課題と思っている。



瀧 上 道 昭 議員

所信表明について

◎ 本市のトップとして情熱を持って、トップセールスを更に展開すべきと思うがいかがか

◎ 何度も熱いエールをいただいております、これまで以上にトップセールスを展開したい。

◎ 市民の満足度を高める方策を、積極的に展開すべきと思うがいかがか

◎ 行財政改革の取組みを進めていく中で、更に市民の皆

様に満足できるように、市民視点で行政サービスを進める。

健康問題について

◎ 健康づくりを更に強化するとある。どう実施するのか

◎ 健診を受けた方たちの一人一人の検査データを、大切にしながら合併症や、重症化予防に重点をおいた保健指導を、更に推進していきたい。

◎ 生活習慣病の予防対策はどうなっているか

◎ 若い世代を中心に特定健診の受診率を向上させ、健診の結果を生活習慣の改善に、役立ててもらえるよう個々への指導を地道に継続する。

急傾斜地崩壊地域について

◎ 現状はどの様に認識しているか

◎ 崖崩れや山腹崩壊等の、自然災害の危険性が高い地域が点在している。危険箇所が276カ所あり、対策の必要性を認識している。

◎ 石坂川村中地区の事業着手の見込みはどうなっているか

◎ 急傾斜地崩壊危険区域の指定を受け、土地の提供等の協力を得ており、条件的には

満足しているのですが、事業着手を県に要望していきたい。

水道事業について

◎ 第一水源地に設置した太陽光発電の1年間の発電量及び料金はいくらか

◎ 発電量は約12万1,300キロワットアワー、売電金額は約410万円。使用電力料金は536万円、太陽光発電による売電は1年間において410万円の収入。

◎ 今回の統合計画の対象とならなかつた簡易水道の対策はどうするのか

◎ 地元の意見を聞きながら適切な維持管理の方法や、施設のあり方を協議していく。



常任委員会の報告

*委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。

総務産業委員会

(所管：総務企画部・産業建設部・会計課・選管・監査・農業委員会・水道局・議会事務局)

〈主なもの〉

●水俣市空き家等の適正管理に関する条例

本市の区域内に所在する空き家等の管理の適正化を図るため制定するものである。質疑の中で人が住んでいる家屋でも危険な状態のものがある場合は、該当しないのかとただしたのに対し、空き家等とは常時無人の状態にあるものと、その敷地をいうものであるとの答弁があった。採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した。

●平成25年度水俣市一般会計予算中付託分

歳出の主なものは、総務費に電算システム管理運用経費、環境首都水俣・芦北地域創造事業、自治会活動の振興に係る経費、農林水産業費に全国豊かな海づくり大会推進事業、商工費に、みなまた環境テクノセンターや新水俣駅交流センターなどの管理運営費、土木費に市営牧の内団地整備事業、江南橋・古城線道路改良事業、消防費に消防団装備等整備事業、防災に係る経費を計上している。質疑の中で、防災無線のデジタル化による市民のメリットや、今後のスケジュールについてただしたのに対し、デジタル波は直進性が高く明瞭さは向上すると思われる。25年度の設計を踏まえ26年度から28年度にかけて導入できないか検討したいとの答弁があった。商店街の街路灯照明のLED化については、市内の業者に発注するのかとただしたのに対し、地元でできることは地元の業者に優先的に発注する考えとの答弁があった。本議案については委員1名の棄権があり採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

●水俣市長の給与減額に関する条例の制定

古紙リサイクル事業及びバイオマス発電所建設計画に関し、混乱を招いたとして市長として総括的な管理監督責任があるものと判断し、給料月額10分の1相当を減ずるものであるとの答弁があった。採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した。

※そのほか、条例制定4件、条例の改正5件、当初予算2件、補正予算2件、指定管理者指定4件、陳情1件、その他1件を審議した。

厚生文教委員会

(所管：福祉環境部・教育委員会・総合医療センター)

〈主なもの〉

●平成25年度水俣市一般会計予算付託分

歳出の主なものは、民生費に自立支援給付費、法人立保育所運営費負担金、生活保護費、児童手当、次世代育成支援施設整備事業、老人福祉施設措置費、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療制度等に係る経費、衛生費に市立総合医療センターへの繰出金、ごみ処理等に係る水俣芦北広域行政事務組合負担金、清掃施設管理運営費、子ども医療費助成事業、合併浄化槽設置整備事業、エコ住宅建築促進総合支援事業、太陽エネルギー利用システム導入補助事業、水銀条約外交会議推進事業、教育費に小中学校・給食センター・総合体育館・文化会館・図書館等の管理運営経費、小学校太陽光発電施設設置事業、コミュニティ・スクール推進事業、スクールバス運行事業、各種文化・スポーツ振興事業、読書のまちづくり関係経費、蘇峰生誕150年記念事業等を計上している。

財源としては、市税から市債までの歳入を充当している。

また、債務負担行為として、戸籍電算システム保守委託料他4件を計上し、地方債として過疎対策事業債等を計上しているとの説明を受け質疑を行った。

質疑の中で、エコ住宅建築促進支援事業に対する地元業者の反応についてただしたのに対し、市産材の活用、地元業者の活用という点で好評であるとの答弁があった。

また、グリーンスポーツ管理運営費について、施設の今後のあり方や一定の役割は終わったのではないかとただしたのに対し、平成25年度中に結論を出したいとの答弁があった。全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した。なお、委員からグリーンスポーツの検討については、廃止の方向で早急に結論を出すべきとの意見があった。

※そのほか、条例制定4件、条例改正2件、当初予算4件、補正予算2件、指定管理者指定4件、陳情4件を審議した。

他自治体からの視察

(平成25年1月～3月)

- 1月20日 千葉県柏市議会
・村丸ごと生活博物館事業について
- 1月22日 宮崎県日南市議会
・環境モデル都市づくりについて
・湯の児フィッシングパークについて
- 1月23日 栃木県矢板市議会
・村丸ごと生活博物館の取り組みについて
- 1月24日 福島県田村市議会
・水俣病資料館について
- 1月31日 新潟県議会
・環境モデル都市の実現による地域活力の創造について
- 2月5日 福岡県みやま市議会
・環境モデル都市づくりについて
- 2月7日 岐阜県羽島市議会
・ゼロウェイストのまちづくり水俣宣言について
- 2月12日 福井県議会
・環境モデル都市としての各種事業の取り組みについて
- 2月19日 佐賀県鳥栖市議会
・九州新幹線開通に伴う市の活性化策について
- 2月20日 福岡県直方市議会
・産業廃棄物処分場問題について
- 3月26日 東京都板橋区議会
・環境モデル都市づくりについて

議会の主な動き

(平成25年1月～3月)

- 1月4日 仕事始め式
- 1月13日 第63回熊日三太郎駅伝競走大会、水俣市成人式(水俣市文化会館)
- 1月21日 議会運営委員会(政務活動費、予算審議方法等について)
- 1月28日 議会運営委員会(政務活動費、予算審議方法等について)
- 2月5日 議会運営委員会(3月定例会の会期等について)
- 2月13日・14日 消防救急デジタル無線整備に伴う視察研修(福岡県遠賀町消防本部及び春日・大野城・那珂川消防本部)
- 2月19日 第8回みなまた教育フォーラム(水俣市公民館)
- 2月20日 議会運営委員(3月定例会の提出議案等について)
- 2月25日 平成25年第1回水俣市議会定例会開会
- 2月26日～28日 全員協議会(平成25年度一般会計予算説明)
- 3月11日～13日 一般質問、質疑
- 3月14日 各常任委員会
- 3月15日 徳富蘇峰生誕150年記念式典(水俣市文化会館)
- 3月19日 平成25年第1回水俣市議会定例会閉会
- 3月23日 国保水俣市立総合医療センター新西館落成記念式典・祝賀会

議会報告会を開催します

水俣市議会では、議会をより身近に感じていただくため、「議会報告会」を開催しています。議員16人が4班に分かれて各地域を訪問し、議会の審議内容・市政の課題等について説明します。

議会報告会の開催日程 ☆どこの会場へも参加できます

日 時	場 所	担当議員	日 時	場 所	担当議員
平成25年4月23日(火) 午後7時から1時間 程度	白浜集会所	高岡、野中、谷口明、牧下 川上、真野、淵上、谷口眞 塩崎、田口、大川、西田 中村、福田、江口、緒方	平成25年4月24日(水) 午後7時から1時間 程度	初野集会所	高岡、野中、谷口明、牧下 川上、真野、淵上、谷口眞 塩崎、田口、大川、西田 中村、福田、江口、緒方
	22区公民館			月浦公民館	
	古賀町公民館			茂川公民館	
	汐見町公民館			深川公民館	
	神川公民館				

*次回は9月議会終了後の予定です。



開かれた議会、わかりやす
く皆様に親しんでもらえる市
議会だよりを目指して一同頑
張って参りましたが、このメ
ンバーでの編集委員会もこれ
が最後となりました。次回か
らは新たなメンバーが新た
な視点で発行に当たってく
れたいと思いますので、どうぞ
期待下さい。

また、議会の状況は現在
ネット中継されており、家庭
や職場に居ながら傍聴できま
す。議会へ出掛けられない方
は、どうぞ利用いただきたい
と思います。

しかし、できましたら直接
傍聴していただければ、雰
気も違いますし、議員や執行
部の緊張感も高まり、より質
の高い議会展開になるものと
思われます。

いずれにしても、今後
とも議会へのより上の関心
を深めていただき、叱咤激励
を賜りますようお願いいたし
ます。

編集委員(委員は50音順)
委員長 大川 末長
副委員長 川上 紗智子
委員 江口 隆一
委員 緒方 誠也
委員 谷口 明弘
委員 中村 幸治
委員 福田 幸昭
委員 白浜 道弘

編集後記